

# 2019年国際ロータリー2660地区 公共イメージ向上セミナー

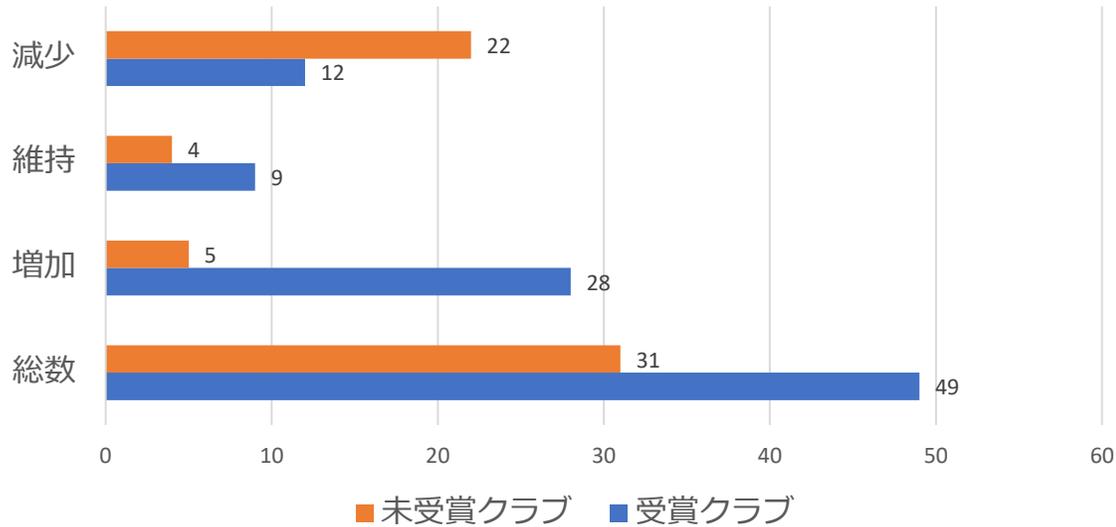
～ロータリアン一人ひとりが広報マン～  
2018-19年度の成果をみんなで発展させよう

国際ロータリー第2660地区  
公共イメージ向上委員長 樋口信治

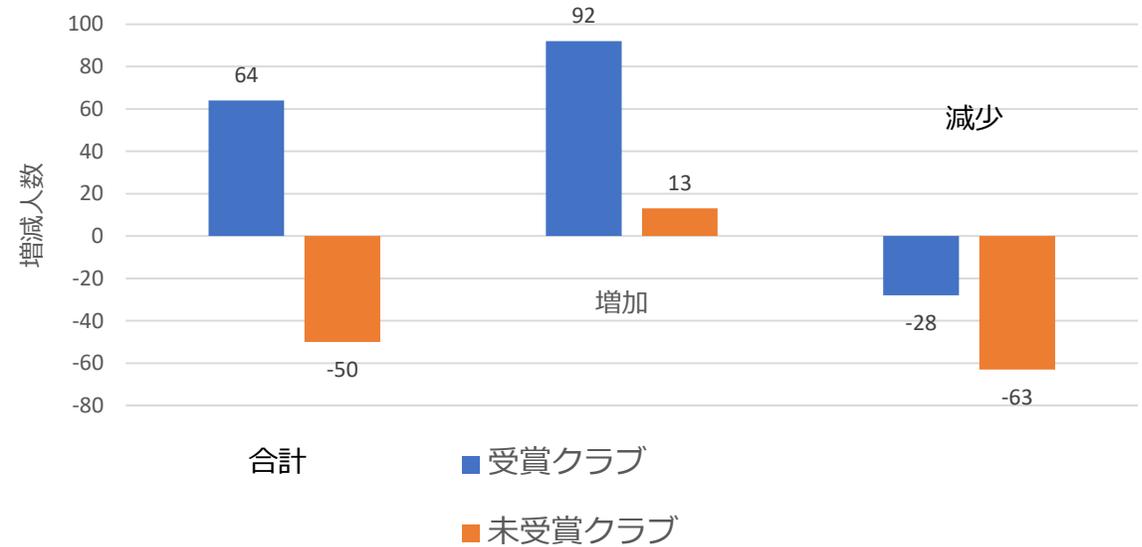
---

# ロータリー賞と会員増強

ロータリー賞と会員増強（クラブ数）



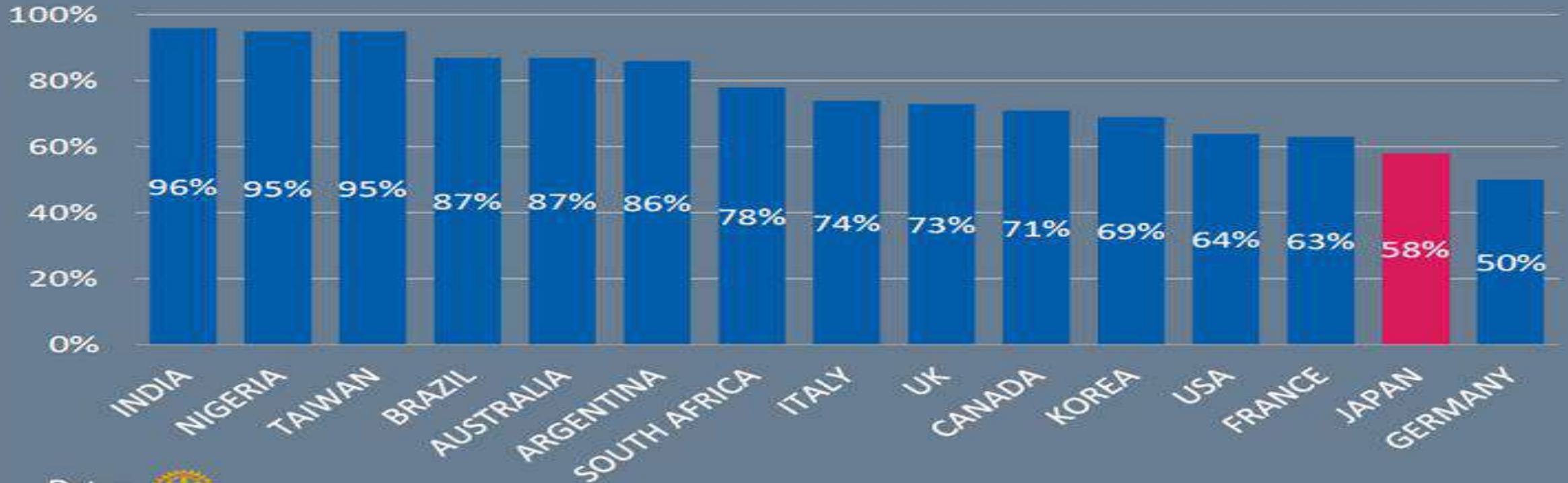
ロータリー賞と会員増強（増加数と減少数）



ロータリー賞受賞クラブは49クラブで差引64名増。会員増加が28クラブ 92名増。減少が12クラブ 28名減。維持が9クラブ。  
 ロータリー賞未受賞クラブは31クラブで差引50名減。会員増加が5クラブ13名増。減少が22クラブ63名減。維持が4クラブ

## ロータリーの認知度

インド、ナイジェリア、台湾ではほぼ全国民に認知されています。  
ブラジルとオーストラリアでも高い認知度を誇ります。



## 見解表明案 19-117→ RI 理事会に RI の課税上の地位を変更するための適切な措置を講じることを許可する件（賛成 374票・反対 120票）

- 採択されたこの見解表明案によって、現在RIは米国イリノイ州の、非営利法人として、米国内国歳入法第 501 条(c)(4)項に認定され、米国連邦法人税が免除されているものが、米国におけるRCを含む全てのロータリー（RIや財団を含む）が、内国歳入法第 501 条(c)(3)項による免税の対象となり、それによってRIは年間70万ドル前後の節税効果が得られるというもの。
- 日本で言えば、501 条(c)(4)項は「一般社団法人」認定であり、501 条(c)(3)項は「公益社団法人」認定のようなもので、後者の認定を受けるためには、「慈善活動が主体の団体」であることが必須条件。
- ロータリーは地域社会の名士が集まる「社交を目的とした親睦団体」であり、且つ寄付行為を行うものであって、節税効果のために「公益に資する慈善活動」を主として行う団体になったのでは、ロータリーの特性が損なわれるため反対するといった論争が米国内で行われ、投票の結果、「社交を目的とした親睦団体」論者が敗北し、「公益に資する慈善活動」論者が勝利を収めました。